



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月24日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役 (氏名) 加納俊男
コーポレートコミュニケーション室長 TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2023年11月1日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けオンライン説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	152,148	16.8	1,275	48.7	7,429	4.9	4,413	11.3
2023年3月期第2四半期	182,975	36.1	2,485	51.6	7,809	43.5	4,977	57.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 9,407百万円 (39.7%) 2023年3月期第2四半期 6,736百万円 (154.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	42.14	
2023年3月期第2四半期	47.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	279,719	147,374	50.0
2023年3月期	298,390	139,570	44.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 139,967百万円 2023年3月期 133,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		17.00	34.00
2024年3月期		18.00			
2024年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	8.4	16,000	6.0	19,000	9.0	12,000	38.0	114.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) TCFG Compressor (Thailand) Co., Ltd.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	109,368,914 株	2023年3月期	109,339,548 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	4,631,450 株	2023年3月期	4,631,407 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	104,717,894 株	2023年3月期2Q	104,689,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法及び四半期決算説明会の開催について)

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2023年10月25日(水)に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会(オンライン形式)を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）におきましては、国内向け空調機および情報通信システムの売上は増加しましたが、海外向け空調機の減収が大きく、連結売上高は1,521億4千8百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

損益につきましては、コストダウンの着実な進展に加え、素材価格および海上運賃の下落や為替相場の好転はあったものの、海外向け空調機の減収影響が大きく、営業利益は12億7千5百万円（同48.7%減）となりました。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替変動に伴う為替差益の計上等により、それぞれ74億2千9百万円（同4.9%減）、44億1千3百万円（同11.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<空調機部門>

空調機部門では、前年同期に上海市都市封鎖の影響を大きく受けた国内向けの売上は回復したものの、海外向けでは、中東、北米向けの前年同期の出荷が高水準であったことに加え、コロナ禍後の消費動向の変化や世界的なインフレの進行などに伴う各地域での需要停滞による流通在庫の増加や、商品供給不安解消に伴う追加受注の鈍化により、売上高は1,372億9千8百万円（同18.5%減）となりました。営業利益は、コストダウンの着実な進展に加え、素材価格および海上運賃の下落や為替相場の好転はあったものの、海外向けの減収影響が大きく、1億6千3百万円（同89.1%減）となりました。

[海外向け]

売上高は、1,097億7千1百万円（同25.0%減）となりました。

中東、北米向けの前年同期の出荷が高水準であった影響が大きく、前年同期比で減収となりました。

また、サプライチェーン正常化に伴い、供給が遅れていた受注残の出荷が前年度に大きく進展したものの、商品供給不安解消に伴い販売代理店等からの追加受注が鈍化しているほか、各地域での需要停滞などにより、流通在庫が高水準となり、北米等において当初の想定より現地在庫削減に時間を要している状況です。こうしたなか、出荷を抑制し現地販売促進に最優先で取り組んでおります。なお、地域別の状況は以下のとおりです。

米州では、北米において、一昨年度からの販売ずれ込みにより前年同期の出荷が高水準であったことに加え、販売代理店等における在庫削減に時間を要していることから、売上が減少しました。なお、現地在庫の削減を最優先課題として販促活動を強化するとともに、今後の販売拡大に向けた販路開拓の取り組みを進めております。

欧州では、ルームエアコンの売上は前年同期並みとなったものの、A T W（ヒートポンプ式温水暖房システム）において、サプライチェーン混乱下でも市場拡大期待に応じて優先的に生産・出荷し、現地在庫の積み増しが進んでいたところ、補助金制度の変更をはじめとした一時的な市場環境変化の影響を受け、売上が減少しました。なお、今後の需要拡大が期待される施工性に優れたA T Wの新機種投入など、商品ラインアップ強化を進めております。

中東・アフリカでは、一昨年度からの販売ずれ込みにより前年同期の出荷が高水準であったことなどから、大幅減収となりましたが、売上は概ね計画どおり推移しており、流通在庫の削減も進展しております。

オセアニアでは、商品供給の正常化により、ルームエアコンおよびV R F（ビル用マルチエアコン）の販売が前年同期を上回ったことから、売上が増加しました。

アジアでは、主力市場のインドにおいて、第1四半期は天候不順の影響を受けたものの、第2四半期に入りルームエアコンの販売が回復するとともに、V R Fの販売およびソリューション案件も堅調に推移したことなどから、売上が増加しました。

中華圏では、中国において、不動産市況の低迷などにより、V R Fの販売が停滞したほか、台湾向けの販売が減少したことから、売上が減少しました。

[国内向け]

売上高は、275億2千7百万円（同24.3%増）となりました。

ルームエアコン市場は、夏期に全国的な猛暑となったものの、巣ごもり需要の反動減などにより業界出荷は前年同期を下回りました。当社は、上海市都市封鎖の影響による大幅な出荷減があった前年同期に対し、今年度は出荷が正常化していることから、省エネ性の高い機種を中心に、主に住宅設備ルート向けの販売が回復するとともに、売価改善にも取り組み、売上が増加しました。

<情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、情報通信システムの販売増により、売上高は134億9千万円（同2.6%増）、営業利益は5億3千9百万円（同89.8%増）となりました。

[情報通信システム]

売上高は、67億4百万円（同31.9%増）となりました。

公共システムにおいて、商談案件数が増加しているなか、受注済みシステムの納入が順調に進展するとともに、民需システムの販売増もあり、売上が増加しました。

[電子デバイス]

売上高は、67億8千5百万円（同15.8%減）となりました。

自動車生産の回復に伴い車載カメラの販売は前年同期を上回ったものの、産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、中国における設備投資の停滞で販売が減少したことから、売上が減少しました。

<その他部門>

売上高は13億5千9百万円（同4.5%増）、営業利益は5億7千1百万円（同18.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（以下、当第2四半期末）の総資産につきましては、ノルウェー、ギリシャにおける販売代理店の連結子会社化に伴うのれんの計上などによる増加はありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産ならびにタイにおけるコンプレッサー工場の持分法適用関連会社からの連結子会社化などに伴う投資有価証券の減少により、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）186億7千万円減少し、2,797億1千9百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の減少などにより、前年度末比264億7千4百万円減少し、1,323億4千5百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および為替換算調整勘定の増加などにより、前年度末比78億3百万円増加し、1,473億7千4百万円となりました。なお、本年8月に譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行したことにより、資本金および資本剰余金がそれぞれ47百万円増加しております。

この結果、当第2四半期末の自己資本比率は5.3%増加し、50.0%（前連結会計年度末は44.7%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権の回収などによる運転資本の減少および税金等調整前四半期純利益ならびに減価償却費の計上などにより、208億2千3百万円の収入（前年同期は34億9千5百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備、基幹システム刷新等のIT関連への投資およびノルウェー、ギリシャにおける販売代理店ならびにタイにおけるコンプレッサー工場の連結子会社化に伴う株式取得により、98億2千6百万円の支出（同42億8千3百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは109億9千7百万円の収入（同7億8千8百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、金融機関への借入金返済および配当金の支払を行ったことなどにより、116億2千2百万円の支出（同13億3千9百万円の収入）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比3億1千2百万円増加し、177億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年10月19日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,391	17,703
受取手形、売掛金及び契約資産	107,104	81,704
商品及び製品	54,267	53,077
仕掛品	2,696	1,979
原材料及び貯蔵品	15,795	19,049
その他	19,528	19,693
貸倒引当金	△803	△882
流動資産合計	215,981	192,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,037	39,662
機械装置及び運搬具	44,429	51,774
工具、器具及び備品	34,538	38,396
土地	8,900	8,900
建設仮勘定	455	903
減価償却累計額	△82,166	△92,978
有形固定資産合計	44,195	46,660
無形固定資産		
のれん	3,757	7,636
その他	16,183	18,175
無形固定資産合計	19,941	25,812
投資その他の資産		
投資有価証券	6,384	3,154
繰延税金資産	9,424	9,593
その他	2,473	2,184
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	18,272	14,922
固定資産合計	82,408	87,395
資産合計	298,390	279,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,763	37,709
短期借入金	32,716	24,949
未払法人税等	2,720	3,140
未払費用	20,835	19,785
製品保証引当金	5,109	5,279
海外事業等再編引当金	2,521	2,828
独禁法関連引当金	7,943	7,918
その他	13,604	11,684
流動負債合計	139,214	113,296
固定負債		
長期借入金	6	166
再評価に係る繰延税金負債	2,365	2,365
退職給付に係る負債	10,734	11,038
その他	6,498	5,477
固定負債合計	19,604	19,048
負債合計	158,819	132,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,172	18,219
資本剰余金	82	130
利益剰余金	109,900	112,533
自己株式	△5,024	△5,024
株主資本合計	123,131	125,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704	863
土地再評価差額金	4,759	4,759
為替換算調整勘定	4,870	8,662
退職給付に係る調整累計額	△193	△176
その他の包括利益累計額合計	10,140	14,108
非支配株主持分	6,298	7,406
純資産合計	139,570	147,374
負債純資産合計	298,390	279,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	182,975	152,148
売上原価	144,711	117,655
売上総利益	38,263	34,493
販売費及び一般管理費	35,777	33,218
営業利益	2,485	1,275
営業外収益		
受取利息	101	125
受取配当金	130	176
有価証券売却益	—	98
持分法による投資利益	259	—
為替差益	4,549	6,342
その他	576	345
営業外収益合計	5,617	7,088
営業外費用		
支払利息	104	163
持分法による投資損失	—	58
事業構造改善費用	—	157
その他	189	554
営業外費用合計	293	933
経常利益	7,809	7,429
特別利益		
段階取得に係る差益	—	162
特別利益合計	—	162
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による操業停止等に 伴う損失	1,218	—
特別損失合計	1,218	—
税金等調整前四半期純利益	6,590	7,592
法人税、住民税及び事業税	3,380	2,373
法人税等調整額	△2,334	79
法人税等合計	1,046	2,453
四半期純利益	5,544	5,139
非支配株主に帰属する四半期純利益	566	725
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,977	4,413

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,544	5,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	159
繰延ヘッジ損益	△1,857	—
為替換算調整勘定	2,839	3,973
退職給付に係る調整額	9	16
持分法適用会社に対する持分相当額	77	119
その他の包括利益合計	1,192	4,268
四半期包括利益	6,736	9,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,023	8,380
非支配株主に係る四半期包括利益	712	1,027

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,590	7,592
減価償却費	3,717	4,007
のれん償却額	209	227
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△162
引当金の増減額 (△は減少)	△74	△354
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107	113
受取利息及び受取配当金	△232	△301
支払利息	104	163
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,521	31,837
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,643	13,853
仕入債務の増減額 (△は減少)	△108	△26,540
その他	△545	△7,253
小計	4,889	23,182
利息及び配当金の受取額	232	302
利息の支払額	△112	△163
法人税等の支払額	△1,514	△2,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,495	20,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,290	△1,839
有形固定資産の売却による収入	4	14
無形固定資産の取得による支出	△1,852	△2,101
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,982
その他	△144	81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,283	△9,826
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,792	△9,182
長期借入金の返済による支出	△2	△38
配当金の支払額	△1,671	△1,776
その他	△780	△625
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,339	△11,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	784	937
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,334	312
現金及び現金同等物の期首残高	14,202	17,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,537	17,703

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,531	13,143	181,674	1,300	182,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	315	315	178	494
計	168,531	13,458	181,990	1,479	183,469
セグメント利益	1,503	284	1,788	697	2,485

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,788
「その他」の区分の利益	697
四半期連結損益計算書の営業利益	2,485

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	137,298	13,490	150,789	1,359	152,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	783	783	187	970
計	137,298	14,274	151,573	1,546	153,119
セグメント利益	163	539	703	571	1,275

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	703
「その他」の区分の利益	571
四半期連結損益計算書の営業利益	1,275

(収益認識関係)

当社グループは、売上高を顧客の所在地を基礎とした国又は地域に分解しております。
分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	22,148	11,710	33,859	1,300	35,159
米州	38,171	6	38,177	—	38,177
欧州	39,192	74	39,267	—	39,267
中東・アフリカ	25,862	—	25,862	—	25,862
オセアニア	15,045	—	15,045	—	15,045
アジア	18,194	224	18,419	—	18,419
中華圏	9,916	1,125	11,041	—	11,041
外部顧客への売上高	168,531	13,143	181,674	1,300	182,975

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	27,527	12,786	40,313	1,359	41,673
米州	16,447	—	16,447	—	16,447
欧州	37,952	94	38,047	—	38,047
中東・アフリカ	11,971	—	11,971	—	11,971
オセアニア	15,887	—	15,887	—	15,887
アジア	19,730	147	19,877	—	19,877
中華圏	7,781	461	8,243	—	8,243
外部顧客への売上高	137,298	13,490	150,789	1,359	152,148

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。